

7 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	08/21		
山 域	奥秩父	山行日	13 年 07 月 13 日(土)		
山 名	金峰山&瑞牆山		~14 日(日)		
山行目的	夏山を楽しむ・ダブルピストン		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リダ-
原紙: 集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 金峰山・瑞牆山

7/13 曇り時々小雨	7/14 晴れ
05:10 起床	05:00 起床
05:20 道の駅(しらね)発	06:00 富士見平発
06:40 瑞牆山荘駐車場	07:00 大ヤスリ岩直下
07:00 駐車場発	一本(10分)
07:45 富士見平テント設営	07:30 瑞牆山山頂(15分)
08:20 富士見平発	08:45 天鳥川一本(5分)
09:05 大日小屋一本(5分)	09:20 富士見平テント撤収
09:40 大日岩一本(5分)	09:50 富士見平発
10:30 砂払ノ頭一本(10分)	10:20 瑞牆山荘P下山
11:20 金峰山山頂(20分)	10:50~13:30 〆(昼食)
13:00 大日岩一本(20分)	17:40 豊橋(自宅)着
14:10 富士見平(テング)	



山行報告 梅雨明けを狙って、金峰・瑞牆を計画。山仲間にも声かけするも、日程が合わず、妻と二人の山行となった。金曜の夜 8 時に自宅を出発。先ずは豊橋で夕食、今日は行ける所までと気まま旅。東名浜松〜新清水IC、52 号線を北上。道の駅しらねでダウンして車中泊。予定より少し遅れて目覚めると隣の車もない。顔だけ洗って出発。1h 少して瑞牆山荘Pへ到着。朝食を食べ、準備をして 7 時に出発。雨が本格的に降っているが、樹林の中。全く気にならない。ゆっくりと歩くも、45 分で富士見平へ到着。早速、テントを設営しベースキャンプに。時間も十分なので、道程の長い金峰を先に登る事に。空身のせいか、足がどんどん進む。テングを出て 1h もしない内に大日小屋へ。更に 30 分で大日岩へ(大きく凄い)。快調だ! 勾配がきつくなってくるも、妻も粘り強く一歩、一歩、頑張っている。フィックスロープも利用して身体を引き上げ、砂払ノ頭で一本。一気に広がった風景も楽しみ、少し長めの休憩で疲れを癒す。妻のストックをザックに収め、手も使った 3 点確保で岩場を慎重に登る。1h 弱、頑張り、金峰山頂へ。ガスで何も見えず、寒い。証拠写真を撮って下山開始。ご神体の五丈石を改めて仰ぎ、少し登ってみるも、滑りやすく、安全第一で登るのを止め頂上を後にする。大日岩で 1 本取り、岩の途中まで登る。テングへ戻り、小屋自慢のドライフルーツ入り蒸しケーキとコーヒーを妻は食してご満悦だ(少しもらうと美味かった)。私は地ビールで 1 日目の山行を終了。2 日目は、昨日と違って快晴。昨日の残りのチラン寿司のお握りを食べ、6 時

確認
(リダ-)
津田
13.8.18
作成
(報告者)
津田
13.8.18

に出発。荷が軽いせいか、急登も物ともせず、一気に大ヤスリ岩直下まで。更に、すぐに瑞牆山頂上へ。風は強いが、360 度の大パノラマだ! 富士山も、昨日登った金峰も良く見える。山頂の景色を楽しみ、人混みと風を避けて少し下がった所で、休憩。登って来た道を忠実に辿り、天鳥川で小休止。テングに着いて、テント撤収し駐車場へ。増富ラジウム温泉で、ゆっくり汗を流して帰路へついた。

リーダー所見
偶然、妻との二人山行となり、無理しないで楽しさを追求する事にした。1 日目の金峰は眺望には恵まれなかったものの、暑さを感じずにシャクナゲの花も楽しむ事ができた。2 日目は天候にも恵まれ、眺望と瑞牆の奇岩を楽しむ事が出来た。テングの富士見平までは、1 ピッチの距離であり、非常に、快適な楽しい登山となった。次は、金峰〜甲武信の縦走に挑戦してみたいと思

